



千葉市立貝塚中学校 学校だより

校訓： 自主・創造・練磨

第16号

令和3年11月30日発行

千葉市立貝塚中学校

TEL231-7077

◆進路選択の時期にあたって◆

校長 北島 啓行

ゆく秋を惜しむかのように、落ち葉が風に舞っています。11月の第3週は進路面談が行われました。ご都合をつけていただきの面談、ありがとうございました。進路選択の大詰めを迎えた三年生の各教室は、三者面談のために遅くまで明かりがついていました。その窓の明かりを見ながら、思い浮かべたことを述べてみます。

現在、「個性」や「自分らしい生き方」の尊重にともない、上級学校の「特色化・個性化」および「人試制度の多様化・選考尺度の多元化」などの方策が急ピッチで進められています。公立高校が前期・後期入試から一本化されて2年目、私立高校の受験スタイルの多様化など、年々制度も変わります。

しかし、志望校を決定する根拠として、実力試験や模擬試験などの点数だけで学校を選択する意識が根強く支配している現実があります。つまり、上級学校の校風や特色が、その生徒に適しているかといった内面的な要因よりも、狭い意味での学力による相対的な指標によって学校を選ぶことに重心が片寄っていることです。決してペーパーテストによる学力を軽視する訳ではありませんが、このことに片寄り過ぎることは、学校自体とそこに進学する生徒との結び付が弱くなります。

このような将来の見通しや意欲の乏しい進路選択においては、やがて中途退学、進路変更などの問題を抱えるのではないかと危惧の念を感じます。なお、ペーパーテストによる学力のみを身に付ければ、あいさつや言葉遣いなどの礼儀、および身だしなみや立居振舞いなどの良識は、おろそかにしても支障がないものと誤った判断をする生徒も現れています。

そこで、お子さんを幅広く見つめ、何を伸ばしたいか、生きていく上で何が大切なのかなどについて、親子で十分に話し合うことが重要であると思います。また、生徒自身が自己理解(興味・関心、能力、適性など)に基づいて、「何のために、何を求めて・・・」を考え、主体的に進路を選択することができるように、私たち大人は助言と支援に徹するべきだと考えます。期待過剰・知育偏重・不適應などの渦中に巻き込むことのないような対応に心掛けたいものです。



冷たい風の中、面談後に親子で肩を並べて、学校を後にする姿はとても微笑ましく思います。今後の生徒の頑張りと共に来春、希望に満ちた卒業を迎えることができるよう、期待します。

◆先生方も日々勉強です◆

令和2年度、学習指導要領が全面実施となりました。学習指導要領とは、文部科学省が定めている教育課程（カリキュラム）の基準で、およそ10年に1度、改訂されています。生徒の教科書や時間割は、これを基に作られています。

これを受けて、学校の授業でも主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の視点から「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」も重視して授業を改善しています。

本校では、10月の後期に入ってから全教科で、教育委員会の指導主事を招いての授業研究を行い、わかる授業の実現に向けて取り組んでいます。生徒も人に見られる授業にも慣れてきたようで、落ち着いた取組ができています。



12月の行事予定

日	曜日	行事・予定	日	曜日	行事・予定
1	水	テスト返却日	15	水	保護者面談（水 3456）
3	金	テスト個票配布、出前授業	16	木	保護者面談（木 2345）
6	月	3年面接練習（～14日）	17	金	保護者面談（金 3456）
8	水	校内授業研、出前授業	20	月	進路指導委員会、部長会
9	木	職員会議	21	火	専門委員会
10	金	中央委員会、出前授業	22	水	給食終了、大掃除
13	月	保護者面談（月 3456）	23	木	お弁当の日、全校集会
14	火	保護者面談（火 3456）	24	金	冬季休業（～1/5）

○出前授業とは？

本校では、キャリア教育の一環で、働くことや学ぶことの意義、進路実現に向けて上級学校についての学習を行っています。

そこで11月から12月にかけて、「出前授業」と称して、外部から講師の方々をお招きして講演や授業を行っていただいています。

今年は、1年生では千葉県赤十字血液センターと動物愛護団体、2年生は千葉県立千葉工業高等学校と千葉県立京葉工業高等学校を招聘して授業を行います。その様子については、次回の学校だよりで紹介したいと思います。

◎お願いとお知らせ◎

- ・12月13日から1, 2年生の保護者面談が始まります。

およそ15分という短い時間ですが、よろしくお願いします。

- ・12月23日（木）はお弁当の日です。ご準備のほど、お願いします。



<昇降口の飾り>